

会 議 録

会議名	令和7年度 第2回 豊田市入札監視委員会		
日時	令和7年11月21日(金) 午前10時30分～午後0時05分		
場所	豊田市役所 南庁舎5階 51会議室		
出席者	委員長 曾我部 博之	総務部	検査監 中根 和男
	委員 河野 伊知郎	契約課	課長 福岡 員祥
	岡田 千絵		副課長 河橋 敦子
	小島 啓介		担当長 鶴田 智之
			担当長 小船 貴恵
			主査 青山 里枝
		上下水道局	副局長 中根 武人
		上下水道局総務課	課長 広瀬 誠
			副課長 郡嶋 弘武
		主査 弓削 凜音	

1 上下水道局副局長あいさつ

2 報告事項

(1) 令和7年度上半期の契約状況

◇市長部局

質 問	回 答
<p>昨年度から建築一式工事が、不調不成立が増加傾向であるが、その要因は何か。</p> <p>物価の高騰の影響なのか、そもそも豊田市内において、請負う業者が少ないのか、23件中5件が不調不成立という高い割合であったので質問する。</p>	<p>市内本店に名簿登録している業者数は、土木一式が150者程度に対して建築一式が70者程度という状況である。大規模案件になると、求められる実績要件が高くなるため、参加可能な業者数はさらに絞られ、加えて技術者不足も要因として挙げられる。</p> <p>最近では、豊田市の建築系工事で、公共施設の長寿命化改修工事が増えている。長寿命化改修工事は、施設を利用している状態での居ながら改修となり、調整が多く必要なことなどから、業者が敬遠する傾向があり、不成立となることが多い。</p>
<p>管工事の対象は何か。</p> <p>関東方面は、対応できる業者が不足していると聞いたが、豊田市の場合はどうか。</p>	<p>管工事は、主に空調設備工事などが対象となる。</p> <p>管工事は、建築一式に比べても登録業者数がさらに少なく、大規模な実績を有する業者も限られているため、市内本店業者にとっては条件が厳しい状況となっている。</p>
<p>工事関係委託の入札者が右肩上がりであるが、要因は何か。</p>	<p>取扱いを大幅に変更したというものではなく、発注課に対して市内本店業者に発注するための最低限の条件を設定するよう指導しており、これまでの継続した取組の結果、参加要件が改善され、入札者が増加したものと推察される。</p>

<p>業務委託・労働者派遣の契約金額について、資料のグラフによると令和3年度から令和7年度にかけて年度ごとの契約金額の変動が大きい要因は何か。</p>	<p>複数年契約案件があるため、年度によって発注件数が増減し、契約金額に差が生じる場合がある。</p>
---	---

◇上下水道局

質 問	回 答
<p>工種について、舗装は、市長部局の舗装とどう違うのか。管工事に伴う舗装ということなのか。</p>	<p>管工事に伴う舗装のこと。 舗装は、修繕等で発生した道路舗装の復旧作業などを指す。</p>
<p>土木一式とは、土木一式の中から舗装を除いたものを指すのか。</p>	<p>主に下水道の工事になる。土木一式に舗装が含まれることもある。修繕や復旧工事等の際は、路面を一度崩す必要があるため、路面の復旧として舗装が必要になる。</p>
<p>令和6年度の工事関係委託の契約金額の落ち込みについて、能登半島地震の影響と説明があったが、業者が被災地へ赴くから委託を延期させたのか。また、昨年度委託発注を遅らせた分、今年度上半期の契約金額が増加すると予想できるが、大きく増加していないのはなぜか。</p>	<p>能登半島地震を受け、国の新たな耐震化方針が出ると見込まれたため、予定していた更新計画の見直しを延期した。方針次第では更新予定の管路が、耐震化の対象となる可能性があったためである。見込み通り、国から耐震化についての方針が示され、計画を見直す必要が生じた。このことから、令和7年度の契約金額が延期した分だけ直ちに増加するわけではない。</p>
<p>工事の不調・不成立が昨年度同時期の4件から10件に増加したとのことだが、不調・不成立が発生しやすい傾向はあるのか。また、最低制限価格を下回る案件が多いとのことだが、予定価格を下げるといった対策を講じる予定はあるか。</p>	<p>大型案件、JV案件については不調・不成立が見受けられる。また、技術者不足のため辞退といった事例もみられる。案件の傾向ではないが、最低制限価格を下回る案件が、今年度は顕著にみられている。 基準にのっとって積算しているため、予定価格を下げるといった対策はとれない。最低制限価格と同価格で落札する案件も多くみられ、業者が限界まで価格を下げて積算している傾向があると予想する。</p>
<p>物品買入の随意契約について、随意契約にも関わらず平均落札率が低いのはなぜか。昨年度も同様の傾向が見られたが、例年落札率が低くなる案件があるのか。</p>	<p>参考見積業者に、見積を依頼しており、当該参考見積業者が、落札の意向から、参考見積価格よりもかなり低い価格で応札するため平均落札率が下がっている。 昨年度、今年度ともに平型メーターの売却及び購入に関する案件で、落札率の低下がみられた。</p>

- (2) 入札参加停止等の状況
 入札参加停止の決定について
 意見等なし

3 審議事項

(1) 令和7年9月議会案件

意見等なし

(2) 委員選定案件等

◇市長部局

質 問	回 答
連番30番「豊田市古瀬間聖苑残骨灰処理業務委託」の落札額1円の理由について、契約者が実績を得るために赤字覚悟で受注したのではとあるが、ルールとして実績が必要であるのか。	ルールは各自治体で決めているが、入札時に官公庁での類似の業務実績を求める自治体が多い。なお、金額など基準は各自治体で定めているため、金額要件がない場合もある。

◇上下水道局

質 問	回 答
昨今、水道経営計画は社会的に関心が高いと思うが、経営計画を立てるうえで、コンサルで支援を受けることはこれまでもやっていたことか。今回が初めてか。また、経営計画について、どのような議論になっているのか。	前回、経営計画を策定した際も、コンサルという形で支援があった。 現在は、経営基本計画の方針や、収支計画の検討を行っている。

4 その他

第3、4回委員会の開催予定について

第3回開催予定は、2月上中旬を予定。

第4回開催予定は、3月中旬を予定。